

## 「関東ふれあいの道」埼玉県編 NO2 「奥武蔵の古刹を訪ねるみち」

### (追悼山行)

報告 SM

◎山行期日：2024年9月15日

◎メンバー：FT、IK、KT、TI、SM

7月、突然のシリウス元代表 FH さん訃報のお知らせに驚き、未だに信じがたい気持ちで一杯ですが、ここ埼玉県奥武蔵方面は FH さんがホームグラウンドと足しげく通われていた場所と云う事もあり、「奥武蔵の古刹」の竹寺、子の権現で FH さんのご冥福をお祈りしたいと思い、追悼山行としました。



飯能からバスで小殿下車、バス停からほど近く竹寺へ向かう登山道に入る。登り始めからなかなかの急登に、KTさん、IKさんに先に行って頂くよう声をかけて後をつけるが、あっと言う間に二人の姿は見えなくなってしまう。今日は朝から足が重く汗も異常に吹き出てくる。事前の予備知識では「登るごとに視界が広く楽くなる」とあるが、それどころでは無く、呼吸に合わせて一步一步と足を前へ進める。

やっとの思いで急登が終わり稜線へ出るが、展望台へはパスして竹寺へ直行する。



早速準備して来た FH さんの写真の本殿に並べて皆で手を合わせ、ご冥福をお祈りしました。

竹寺を後に子の権現へ、綺麗に並んだ杉林と良く踏まれた歩き易い道は気持ち良く、さっきまでのへろへろ牛歩からも解放され、林の中を鼻歌まじりに豆口峠に到着。昼食とする。ここから子の権現までは幾つかのアップダウンを繰り返し、途中「関東ふれあいの道伊豆が岳へのみち」の際などで通過した見覚えのある愛宕山への分岐を過ぎ、春先には福寿草が沢山咲いていたところに来れば子の権現に到着です。

重さ2トンの「鉄の大わらじ」がある、通称「子の権現（大麟山雲洞院天龍寺）」。ここでも FH さんのご冥福をお祈りしました。



小殿の登山口から竹寺までは、何組かのパーティーと抜きつ抜かれつしながらも、登山者が見られましたが、竹寺から先、子の権現へ向かうと、登山者とはほとんど会わず静かな山歩きを堪能できました。

暑い暑い一日、参道入り口の茶店で5人揃ってガリガリ君アイスを頬張りひと休み。

子の権現を後に吾野駅に向け1時間半歩き、飯能駅ビルの居酒屋にて FH さんへの献杯と、反省会？の乾杯で「奥武蔵の古刹を訪ねるみち」の完歩となりました。

(写真提供 TI 会員)

コースタイム：小殿（10：00）～竹寺（11：05～11：30）～豆口峠（11：55～12：10）  
～子の権現（13：10～13：25）～滝不動（14：10）～吾野駅（15：00）